

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



7月21日（土） 晴れ

森の楽校、再開！夏を楽しむ！

6月、里山地区でツキノワグマの痕跡を発見！そのため、里山地区は約1ヶ月間、閉園していました。その間、公園では様々な調査や安全対策を行って、7月12日(木)より再開園いたしました！森の楽校も6月は休校、本日から再開です。みんなの元気な声が里山に戻ってきましたよ！その間に季節はすっかり夏になり、今年はことのほかの猛暑です。でも山に入れば風が通り抜けますよ。

活動再開！

1ヶ月のお休みは初めてですね。しかも、晩春から盛夏へ、季節が大きく移り変わる時期。この間に、里山の木々はすっかり濃い緑になりました。

今年は春が素早く過ぎ、短い梅雨を経て、突然に暑い暑い夏がやってきました。でも、里山の中に入れば空気は心持ちひんやり、木陰にたたずめば風が心地よく通っていきます。



朝礼！KY活動（危険予知）をしてから、活動開始！活動に伴う危険を常に意識しています。



伐倒体験！

里山で最もダイナミックな体験は、伐倒です！伐倒とは、木を倒すこと。これは他ではなかなかできない体験ですよ！

ミシミシと音をたてて、ゆっくりと木が倒れていく姿は感動的で、大切に使おうという気になります。



飯盒炊飯とかき氷

里山の夏のご馳走は、炊き立ての飯盒炊飯のご飯に、野菜たっぷりのカレー！里山に薪を燃やす煙が上がるのも久しぶりですね。



飯盒がずらり！

今日の最高のご馳走はかき氷かな。里山のかき氷は、里山の味！シャリシャリかいて、里山独自のトッピングは、公園で収穫して里山ボランティアが作った、クワの実ジャムです。



里山のかき氷！

焼きスギプレートづくり

前もって伐倒したスギの木を板に挽いておきました。今日の木工クラフトは、それを使ったオリジナルプレートづくりです。

まず、板を手ノコで切ります。これも初めての体験ですね。次にドラム缶の焚火に入れて、表面を十分に焼きます。そして、表面の焦げた部分をタワシで削って木目を出します。煤で、周囲は真っ黒になります。最後に表面をぼろ布で磨くと、きれいな黒い板になるのです。仕上げは絵の具で好きな絵を描いて完成です。



薪割り

里山では1年を通して薪を使うので、薪割りは基本的な活動です。腰をしっかりと落として、エイ！

